

2023 年度第 2 回日薬連品質委員会（全体会）を開催しました。

2023 年 12 月 6 日（水）13 時～15 時 50 分に日薬連品質委員会（全体会）が、会場（東京：経団連会館）およびオンラインによるハイブリット形式にて開催されました。議決権のある委員の過半数の出席（会場、オンライン、委任状含む）により、規定に則り会議が成立しました。簡単に内容をご紹介します。

報告事項（13 時～13 時 50 分）

本年 6 月の全体会以降の委員の変更及び活動報告がありました。活動報告では、「第 42 回医薬品 GQP・GMP 研究会について」、「『品質確保に向けた実効的な対策検討』及び『承認書記載内容に関する検討の統一化会議』について」、「法規制合理化検討プロジェクトについて」、「厚生労働科学研究活動について」、「ニトロソアミン WT について」を、各々のリーダーから報告されました。次回は 2024 年 6 月 5 日（水）を予定しており、形式は会場開催（状況によっては今回と同様にオンライン開催の併用も検討）としています。

本年は日薬連品質委員会設置後 50 周年に当たることから、以下の 2 つの記念講演を開催し、会場以外にもオンラインで数百名が聴講されました。

記念講演 1.（14 時～14 時 50 分）

「日薬連品質委員会の 50 年の歩みと今後に期待するもの」（熊本保健科学大学 蛭田教授）
今年は、日薬連品質委員会の 50 周年であり、同演題にて GMP の変遷と行政及び業界の取り組みについて、また元委員長として、今後の品質委員会に期待することについて、蛭田先生より講演いただきました。

記念講演 2.（15 時～15 時 50 分）

「最近の医薬行政を巡る同行について（品質管理関連を中心に）」
（厚生労働省 大臣官房審議官（医薬担当） 吉田 易範 様）
今般の医薬品の品質問題及び安定供給問題について、発生した問題とそれに対する行政の取り組み、及び同問題に対し、有識者会議で議論されていることについて、吉田審議官より講演いただきました。

50 周年記念懇親会（16 時～18 時）

全体会議後、50 周年記念懇親会を開催しました。日薬連品質委員長の開会挨拶、日薬連会長の乾杯の挨拶にて懇親会はスタートし、交流を深めました。懇親会では来賓の方々からご挨拶をいただき、品質委員会との思い出や、激励など様々な暖かいお言葉を頂戴し、とても有意義な懇親会となりました。日薬連理事長の中締めにて会は終了しました。